

送電網の強靱化により電力の安定供給を図る

【対策】65 送電網の整備・強化対策

対策概要：台風や地震等の災害発生時であっても、地域への安定的な電力供給を確保するためには、一般送配電事業者等による災害時の対応を強化することに加え、送電網を抜本的に強化していくことが重要。このため、エネルギー供給強靱化法(2020年6月成立)に基づき、「災害時連携計画」の策定等を措置。今後は、電力広域機関による広域連系システムのマスタープラン(2023年3月策定)等を踏まえた送電網の整備に取り組んでいく。

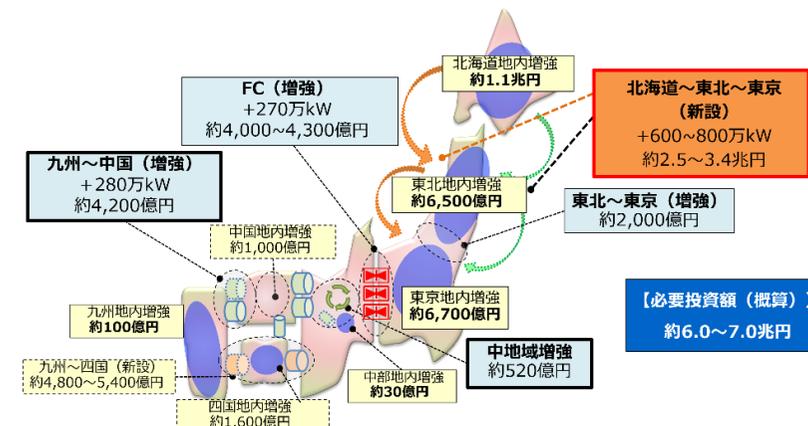
府省庁名：経済産業省

【事例】送電網の強靱化に向けた取組

- 実施主体：一般送配電事業者
- 事業概要：台風や地震等の災害発生時であっても、地域への安定的な電力供給を確保するためには、一般送配電事業者等による災害時の対応を強化することに加え、送電網を抜本的に強化していくことが重要となっている。このため、2020年6月に成立したエネルギー供給強靱化法においては、「災害時連携計画」の策定を一般送配電事業者に対して義務づける等の措置を講じた。また、今後は、電力広域機関によって2023年3月に策定された広域連系システムのマスタープラン等を踏まえた送電網の強化等に取り組んでいく。
- 効果：送電網の整備・強化対策等により、電力の安定供給が確保される。



市民の暮らしを支える送電施設



広域連系システムのマスタープランの概要(ベースシナリオ)
出典：広域系統長期方針(広域連系システムのマスタープラン)(電力広域的運営推進機関2023年3月29日策定)のうちベースシナリオより作成